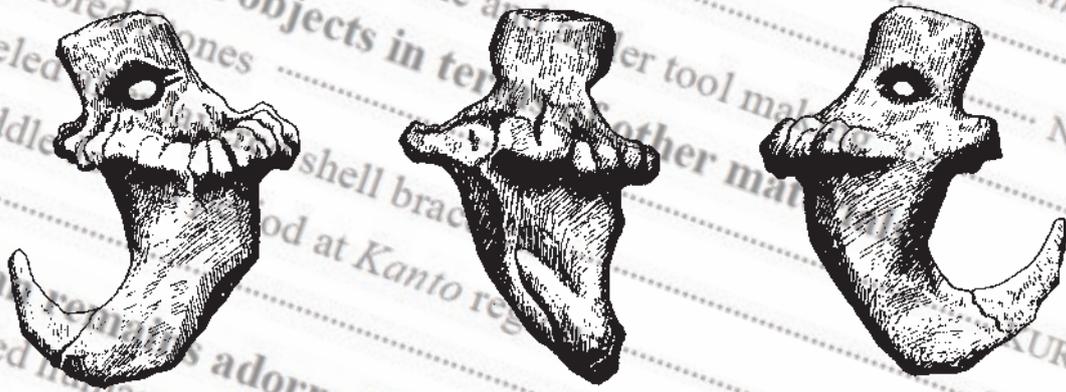


シンポジウム

縄文時代骨角製装身具類研究の現状と課題



骨角製装身具類の研究は、

縄文時代の社会様相および集団関係の変遷の検討をするための、大きな研究課題である。

今日までの研究動向を俯瞰して、今後の研究の可能性について議論していきたい。

科学研究費 研究基盤 (C)

「骨角製装身具類着装原理からみた縄文 / 弥生社会の解明」

(研究課題 24K04355 ・ 研究代表者 川添和暁)

日時 2025年6月22日(日) 午前9時30分～午後5時

会場 明治大学 グローバルホール

共催 明治大学資源利用史研究クラスター

CLUSTER FOR HISTORY OF RESOURCE UTILIZATION

シンポジウム

縄文時代骨角製装身具類研究の現状と課題

9時30分～

開会挨拶 阿部芳郎（明治大学文学部 / 同資源利用史研究クラスター代表）

9時40分～10時20分

趣旨説明 川添和暁（愛知県埋蔵文化財センター / 明治大学資源利用史研究クラスター）

<休憩>

=== 第1部 特定器種に関する多角的検討【司会 川添和暁】 ===

10時30分～12時00分

「縄文中期・後期・晩期の腰飾りについて」

パネラー 樋泉岳二（明治大学資源利用史研究クラスター）

山田康弘（東京都立大学）

米田 穰（東京大学総合研究博物館）

<昼食・休憩>

=== 第2部 骨角製器種と異材質器種との関係【司会 川添和暁】 ===

13時00分～14時30分

「骨角製器種と異材質器種との関係1【貝輪と耳飾り】」

パネラー 阿部芳郎

高橋 満（福島県立博物館 / 明治大学資源利用史研究クラスター）

中沢道彦（長野県 / 明治大学資源利用史研究クラスター）

吉岡卓真（さいたま市教育委員会 / 明治大学資源利用史研究クラスター）

<休憩>

14時40分～15時20分

「骨角製器種と異材質器種との関係2【垂飾】」

パネラー 栗島義明（明治大学黒耀石研究センター / 同資源利用史研究クラスター）

宮内慶介（飯能市教育委員会 / 明治大学資源利用史研究クラスター）

<休憩>

15時30分～16時45分

総合討論

閉会の挨拶（17時終了予定）